



帯グラフと円グラフ6

◎円グラフの読み取り方



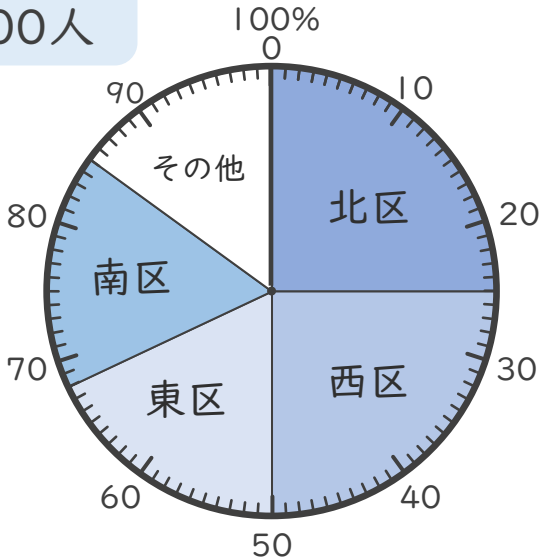
日にち： 月 日

名まえ _____

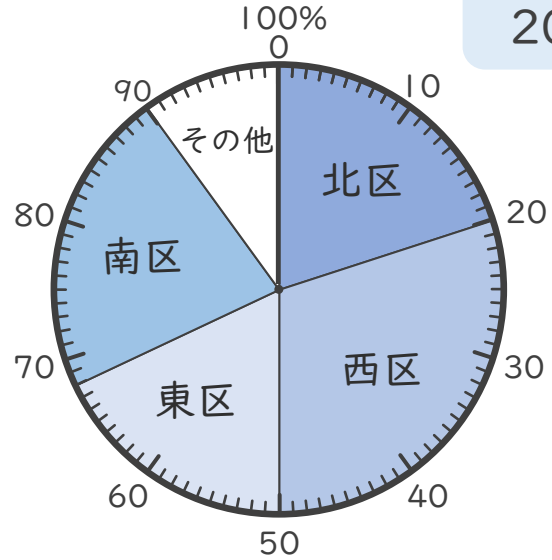
- 下の円グラフは、10年前と今のゆいさんの学校の児童が住んでいる人数の割合を区ごとに表したものです。
(うすい字はなぞりましょう。)

住んでいる区ごとの人数の割合

【10年前】
400人



【今】
200人



- ① 10年前と今の、西区の人数は、それぞれ何人ですか。

【10年前】 $400 \times \frac{\text{全体}}{\text{割合}} = \boxed{0.25} = \boxed{\quad}$ (人)

【今】 $200 \times \frac{\text{全体}}{\text{割合}} = \boxed{0.3} = \boxed{\quad}$ ()

- ② 上の2つの円グラフについて、正しい場合は○、正しくない場合は×を書きましょう。

南区の児童の人数は、10年前より今のほうが多い。

10年前 → $400 \times 0.17 =$

今 → $200 \times 0.22 =$

()





帯グラフと円グラフ6

◎円グラフの読み取り方



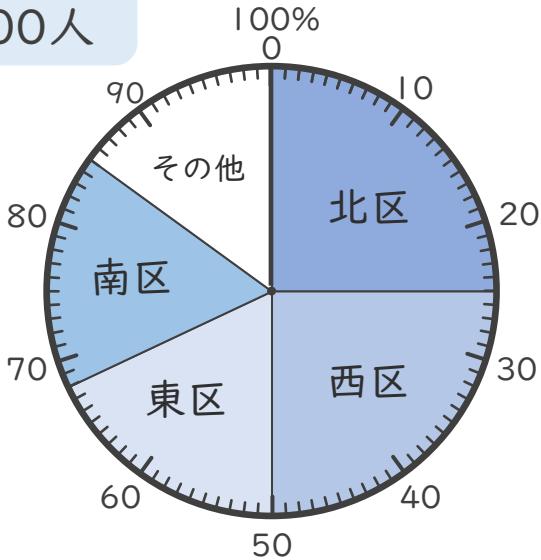
日にち： 月 日

名まえ _____

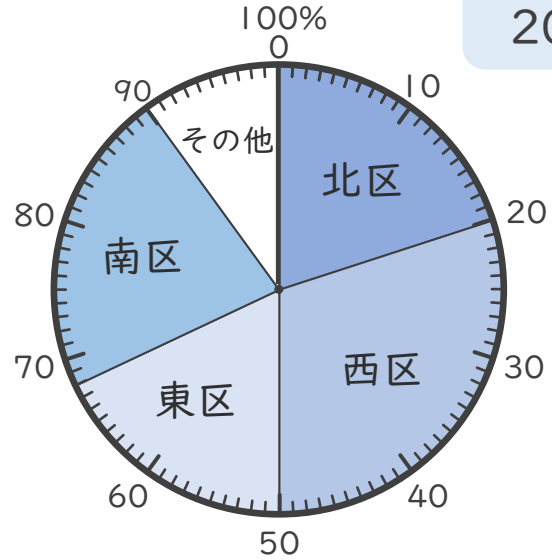
- 下の円グラフは、10年前と今のゆいさんの学校の児童が住んでいる人数の割合を区ごとに表したものです。
(うすい字はなぞりましょう。)

住んでいる区ごとの人数の割合

【10年前】
400人



【今】
200人



- ① 10年前と今の、西区の人数は、それぞれ何人ですか。

【10年前】 $400 \times \frac{\text{全体}}{\text{割合}} = 100$ [100人]

【今】 $200 \times \frac{\text{全体}}{\text{割合}} = 60$ [60人]

- ② 上の2つの円グラフについて、正しい場合は○、正しくない場合は×を書きましょう。

南区の児童の人数は、10年前より今のほうが多い。

10年前 → $400 \times 0.17 = 68$

今 → $200 \times 0.22 = 44$

10年前のほうが多い。 [×]

